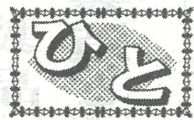


日刊建設産業新聞

2019年(令和元年) 7月1日(月曜日)

日本建築構造技術者協会(JSCA)
東北支部長に就任した

平山 浩史氏



6月6日現在の、1級建築士以上の知識と能力が必要で副支部主任正会員200人に対し、構造設計関連従事者の一一般会員6人、建築構造を専攻する学生・大学院生の学生会員は2人と、活動活性化

に就任。「委員会委員や活動範囲が仙台市を中心とした宮城県に集中している。もつ歩幅圏を拡大し、東北6県に広げるとともに新たな会員の増強に向けて方策を考えた」と抱負を語る。

他団体と交流深め会員拡大

のためには、「拡大の余地がある」と指摘。一般と学生会員の拡大を重点を対象とした構造テ



要課題と捉え、「建築設備団体や建築設計団体との交流会などを企画しながら、認知度を高めて入会を促したい」

ザイン交流会を開催するなど、今後は大学研究室学生の定期的な会員加入に力を入れる。19年度から新たに技

の橋渡しにもなる」と、活動に期待する。

芝浦工業大学大学院建設工学専攻を修了し、87年大成建設入社。本社勤務を経て、06年から東北支店設計部、15年から設計部長に。東北一の高さを誇る仙台トラスタワーの設計を担当した。JSCA東北支部では11年から広報委員長、15年から副支部長を務める。

※

1962年4月12日生、東京都品川区出身。「仕事は楽しむ。プライベートはもっと楽しむ」をモットーに。57歳。

術伝承委員会を設置した。ペテラン会員との交流を図りながら若手技術者育成を目指すのが狙い。「アドバイスをしながら学生と企業と